

# 技術スタッフ交流プログラム（午前の部）タイムスケジュール

08:45-09:00 受付開始 小ホール前

09:00-09:05 開会挨拶 大木センター長

09:05-09:45 口頭での自己紹介

09:45-10:15 施設見学

9:45-10:15

グループA 引率:東嶺 技術専門員

グループB 引率:能登屋 技術専門員

10:20-10:50 リモート測定デモなどを通じた人事交流：場所 各装置設置場所

1:電子顕微鏡（TEM,SEM）

2:質量分析

3: NMR

4: XRD

5: XPS

11:00-12:30 リモート化についての話題提供：場所 小ホール

11:00-11:15 東嶺 技術専門員（TEM関連）

11:15-11:30 能登屋 技術専門員（DX関連）

11:30-11:45 宮家 技術専門員（NAISTの現状）

お弁当配布

11:50-12:30 宇野 技術専門員、木村 技術専門職員（電子化業務について）

# 第1回「合成プロセスデータ構造化・リモート化ワークショップ」

- 対象 : ARIM参加25機関のうち物質・材料合成プロセスに関係する機関の技術スタッフ
- 日程 : 2023年 1月20日 (金) 13:30 - 16:30
- 場所 : 北陸先端科学技術大学院大学 石川キャンパス  
マテリアルサイエンス系講義棟1F 小ホール
- 目的 : MIにおいて、有機材料、無機材料、複合材料など、物質・材料ごとにプロセスが異なる合成プロセスデータの収集と整理について理解を深める
- 形態 : オンライン & オンサイトのハイブリッド形式
- 全体構成
  - 13:30~13:40 受付
  - 13:40~13:45 オープニング : 高村 由起子 スポーク代表者 (北陸先端科学技術大学院大学)
  - 13:45~14:45 招待講演 : 「様々なマテリアルやデータ形式に対応するMI解析手法の概要」  
入江 満 CTO (MI-6株式会社 : <https://mi-6.co.jp/>)
  - 14:45~14:55 休憩
  - 14:55~15:15 話題提供 : 「装置共用とデータ駆動型研究開発の狭間で - 計測領域の現状と将来 -」  
今野 豊彦 計測・分析横断技術領域責任者 (東北大学)
  - 15:15~16:25 フリー討議 : 司会 カートハウス オラフ スポーク代表者 (公立千歳科学技術大学)
  - 16:25~16:30 クロージング : 横山 利彦 物質・材料合成プロセス横断技術領域責任者 (分子科学研究所)

# 招待講演 講演タイトル & 講師プロフィール

■タイトル：様々なマテリアルやデータ形式に対応するMI解析手法の概要

■内 容：

イントロダクション：マテリアルズ・インフォマティクス（MI）総論

メインコンテンツ：様々なマテリアルやデータ形式に対応するMI解析手法の紹介  
MIで用いられる様々なデータ形式

様々なMI解析手法とそれらにおけるデータの処理方法

クロージング：データの観点から考えるMIの理想と現実

■講 師：MI-6株式会社 執行役員/CTO 入江 満

■プロフィール：東京工業大学・大学院にて、バイオインフォマティクスを専攻  
三菱総合研究所、外資系IT企業を経て、MI-6株式会を共同創業  
代表の木寄氏と共に、データ解析・ソフトウェア・ロボティクス事業を立ち上げる  
現在はデータサイエンス統括として、技術・ソリューションの開発および組織開発の  
マネジメントを、また執行役員として組織文化や社内知識のマネジメントを担う  
MI関連の執筆や講演実績多数

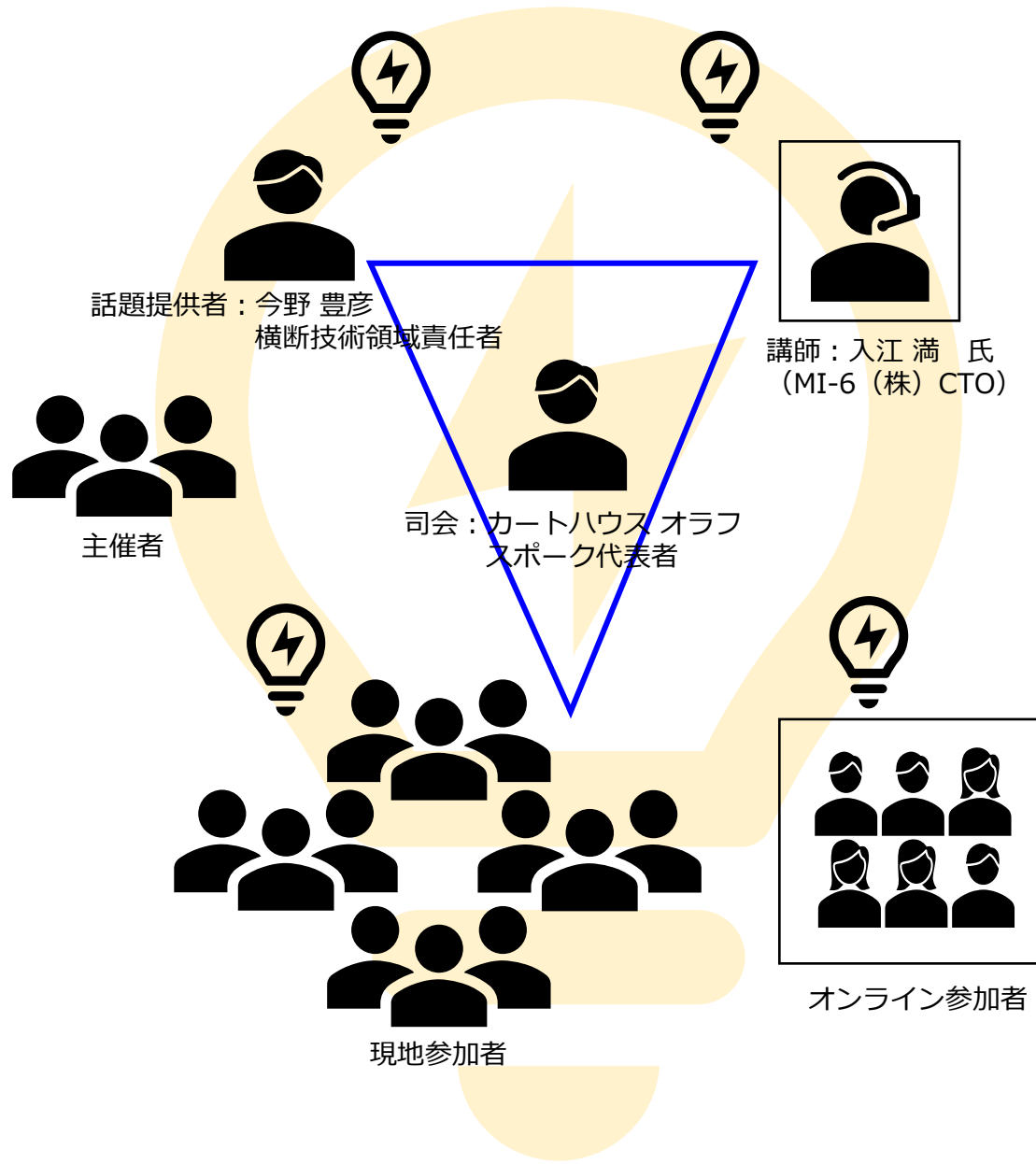


■MI-6株式会社 コーポレートサイト：



**mi-6**

# 15:15 ~ 16:25 フリーディスカッション構成



## ■ 新型コロナウイルス感染症対策について

北陸先端科学技術大学院大学

ナノマテリアルテクノロジーセンター 技術スタッフ交流プログラム事務局

### 1. はじめに

日頃より、北陸先端科学技術大学院大学（以下、本学）の研究活動、並びに教育活動につきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回の開催にあたり、すべての皆様に安心、安全に参加していただくために、新型コロナウイルス感染症予防対策のルールを独自に作成しました。このルールを順守し、会の開催をしていきたいと考えています。

下記に示す対応・対策とともに、参加者の皆様におかれましても感染予防ならびにクラスター対策にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 2. 新型コロナウイルス感染症予防対策ルールについて

政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和3年11月19日（令和4年3月17日変更））、一般社団法人日本展示協会の「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」（2020年6月10日（2021年11月10日改訂））を踏まえ、新型コロナウイルス感染症予防対策のルールを開催前、開催期間中、開催後の3つの場面に分け、作成しました。なお、国立感染症研究所によると、変異株であっても個人の基本的な感染予防策として、従来と同様に「三つの密」の回避、マスクの着用、手洗い等が有効であると推奨されています。本ルールは社会情勢や業界ガイドラインの更新、保険所等の関係機関からの指導などがあった場合など、必要な見直しをします。

### 3. 主催者側の具体的な感染防止対策（概要版）

#### 1) <開催前>

1. 感染防止対策マニュアルを作成し、新型コロナウイルス感染症予防対策について、参加者からの問い合わせを事務局でお答えします。
2. 会場内の設置備品（ブースを含む）の消毒を実施します。
3. 入場の事前登録により、来場予定者数を把握します。
4. 会場内に感染予防対応のための案内や消毒液を設置します。
5. 会場は必要な物理的、社会的距離をとったレイアウトにします。
6. 来学予定者に会場内でのマスク着用、手指消毒などの感染予防の注意喚起をあらかじめメール等で周知します。
7. 感染状況により、特定警戒都道府県にむけた出展および参加周知活動を自粛します。

#### 2) <開催期間中>

1. 入場時には会場内でのマスクの着用、手指消毒、サーモカメラ、または非接触型体温計による体温計測を行います。
2. 会場内での常時マスクの着用をお願いするとともに、手指消毒、ソーシャルディスタンスなどに関するアナウンスを繰り返し行い、感染予防を徹底します。
3. 会場内の人数を把握し、必要に応じた入場制限により人数を適切にコントロールします。
4. 会場内の空気循環のため、出入口を常時開放し、空調（送風）を行います。
5. 会場内で食事を行う場合で、会話の際にはマスク着用を徹底するよう注意喚起します。

#### 3) <開催後>

1. 感染者発生時には感染経路特定等の理由により、最低限必要となる個人情報をご政府機関・自治体に開示します。

### 4. 参加者の皆様へのお願い

当日は必要に応じて会場内の人数をコントロールするための入場制限を行います